

本物。品訪

鹿児島県 特産 特探

2011かごしまの新特産品コンクール
鹿児島県知事賞

和装用ブライダルブーケ

”Codzuchi”



昔話などに登場し、振ると願いが叶うという「打ち出の小槌」をモチーフにして作られた和装用ブライダルブーケ”codzuchi”。作者である、鹿児島市のenmoyukariエンタープライズの山崎由加里さんにお話を伺いました。

和装用のブライダルブーケとは
面白いですね

もともと植物によるディスプレイやフラワーギフトなどを手がけていて、生花のブライダルブーケも作っていましたが、今までにない形で、誰も作っていないようなものと、生花から布地にシフトし、和装の婚礼衣装に合わせるブライダルブーケを作り始めました。人生の新たなスタートになる結婚式にふさわしいという理由から、形は縁起の良い小槌にしました。



ブライダルブーケのほかにも、誕生祝いにぴったりの手のひらサイズのブーケ“福良雀”(左)や、革を用いたブーケ“青い松”(右)なども制作しています。

今回の「codzuchi」は、奄美大島では新婦が成人式に着た着物を結婚式でも着用するという話からヒントをもらい、大島紬5種類と博多織の帯地2種類を使用しています。ひもの部分にはワイヤーを入れ、持った時に動きが出るように工夫しました。

特にこだわったところはどこですか

鈴を付けたところですね。お客さまからの要望でしたが、鈴の音には魔除けの効果もあると言われていたので、今ではなくてはならないものです。音がこもってしまうので外に付けていますが、中に入れてもきれいな音が出るように改良中です。

やり甲斐を感じるのとはどんな時ですか

花嫁が七五三で着た着物や、お母さんの使っていた帯など、お客さま

今後の抱負をお聞かせください

の思い出の話まった生地で作ること多いので希望に添った作品を作ることにはプレッシャーもありますが、できあがった作品を見て喜んでもらえたときは何よりうれしいです。

小槌の形を残しつつも、ベルベツトやレース生地などを使うことによつてドレスにも合うブライダルブーケを作っていきたいと思っています。ラッキーアイテムとしてもストーリー性のあるものなので、日本だけではなくヨーロッパの方たちにも新しいウエディングスタイルとして提案できるようにデザインや素材の組み合わせなどを勉強中です。

一つ一つ手作りで制作には時間がかかりますが、人生の門出に寄り添えるような作品をこれからも作っていきたいですね。



「姉妹、親子でリレーのバトンのように代々使ってもらいたいです」と山崎さん。

プレゼントコーナー

大島紬の生地を使ったブローチを3名様にプレゼント。

応募締切 平成24年2月29日(水)

応募方法 ハガキ、FAXまたはメールに
①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業
⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

はがき宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



enmoyukariエンタープライズ
〒890-0051
鹿児島市高麗町8-8-1F
電話 099-206-7098
<http://enmoyukari.com>

和装用
ブライダルブーケ
”codzuchi”

オーダーメイド：税込57,000円
※レンタル有り